



身延町/身延山門前町

**笑顔
スナップ!**

身延山病院

地域に役立つ病院を目指して、情熱・慈愛・誠実を理念として日々頑張っています。



壁面制作の前で



手術室スタッフ



病棟カンファレンス



透析スタッフ全員集合

Contents

新会長あいさつ
山梨県看護協会会長 佐藤悦子 ————— 2

特集 コロナに負けるな
いま私たちにできること ————— 3~5

職能委員会 令和3年度の活動抱負 ————— 6

令和3年度 理事会メンバー・
新役員・職能委員会紹介 ————— 7

令和3年度 地区支部の取り組み ————— 8~9

うちの職場自慢 その63 ————— 10

シリーズ 看護研究のコツ No.24 ————— 10

ナースのママ・パパ奮闘記 No.50 ————— 11

Topic&Information ————— 11

令和3年度 理事会報告 ————— 12

INFORMATION／編集後記 ————— 12

**山梨県看護協会への
入会手続きはお早めに!!**



山梨県看護協会会員数 5723人 (令和3年8月15日現在)

「山梨の強み」は、 あらゆる分野で活動する 「看護職間のつながり」

山梨県看護協会会長 佐藤 悦子



趣味：
食べること
旅行

令和3年度もまた新型コロナウイルス感染症への対応に翻弄されてスタートしました。様々な部署で日々奮闘している全ての看護職の皆さまに、心から敬意を表し深く感謝申し上げます。6月に開催されました山梨県看護協会総会および理事会において、新たに看護協会長として選出され就任いたしました。今まで山梨県看護協会の活動を作り上げてきてくださった古屋玉枝前会長様はじめ、多くの先輩たちに心から感謝するとともに、今以上に社会のニーズに確実に応えられる専門職能団体として、先を見据えながら取り組んでまいりたいと思います。

コロナ禍であっても「人に寄り添う看護」を根幹に据えた質の高い看護の提供、また生き活きと働き続けられる魅力ある職場環境づくり等、看護協会の活動は多岐にわたります。保健・医療・福祉あらゆる分野で活動する看護職の皆様と横の連携をしっかりと図り、組織としての看護協会活動に取り組んでまいりたいと考えております。

令和3年度の看護協会活動の重点事業は5つです。

- I 地域包括ケア・地域共生社会の実現への看護提供体制の構築
- II 看護職の働き方改革の推進
- III 看護の質の向上を図るための人材育成
- IV 健康危機管理体制の強化
- V 魅力ある看護協会活動の推進



これらの事業は、協会本部と地区支部がつながり会員一人一人の意見を反映させながら展開していきます。また、各委員会は活動目標を掲げ活動することが、事業推進につながっていきます。「山梨の強み」は、あらゆる分野で活動する「看護職間のつながり」だと考えます。多様なニーズに対応し県民が安心して自分らしく生活するためには地域包括ケアの充実が必須です。多職種ともしっかりと連携を図りながら、一人でも多くの仲間たちとつながり組織の強化を図っていきたく思います。

お一人お一人の声を看護協会にぜひ届けてください。自分たちの看護協会であり、会員の皆様の声を大切にした看護専門職能団体としての協会活動ができますよう、どうかよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス ワクチン 予防接種への取り組み

COVID-19の拡大を収束させる『カギ』であるワクチンですが、県民が安全で安心した生活が
おくれるよう正しい知識と情報、技術を修得し、また、県民一人一人の意志で接種ができるよう
配慮ある支援を行うため、多くの潜在看護職のみなさんが行動を起こしてくれました。

山梨県看護協会 山梨県ナースセンターは、潜在看護職を対象とした、新
型コロナワクチン接種業務に係る研修会を実施しました。6月1日現在山梨
県における潜在看護職は、597人（ナースセンター調べ）。現在もなお、
地域・職域・学校等において新型コロナウイルスワクチン接種が行われています
が、県民が安全で安心かつ効率的に接種が受けられるように、潜在看護職
の更なる活用のために研修を7回実施し、192人のみなさんが参加する予定
です。内容は、講義と演習からなり、受講者には、「受講修了書」を発行
しました。さらには、求人登録を行っている自治体や企業からの説明を受
ける就業支援も行いました。

研修後、多くのみなさんが、自治体や企業、県の集団接種等に従事して
活躍しています。

※このほか、企業や学校等の看護職を対象に、演習を主とした研修会を2回実施し、30人が受講しました。

- 内容
目標**
- 1) 新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識
 - 2) 新型コロナウイルスワクチン接種の基礎知識
 - 3) 接種関連手技の知識・実践

演習の講師は、既に自治体等で実践を積まれている、潜
在看護職のみなさんにお越し、現場の様子を伝えていた
だきながら具体的な手技についてご指導いただきました。

ワクチン接種業務研修会

	研修会実施日	参加者数
1	令和3年6月 9日	25人
2	6月15日	36人
3	6月23日	35人
4	7月12日	26人
5	7月13日	30人
6	8月 2日	24人
7	9月中予定	16人

接種部位の
選定を
繰り返し
行います。



「筋肉注射
の演習」
みなさん
真剣です。

《お知らせ》

7月末までの高齢者向けのワクチン接種の完了を目指して、自治体におけるワクチン接種を行う看護職確保の
ニーズに対応するため、潜在看護職の更なる就業への協力が求められました。

この一環として、都道府県ナースセンターにおいてワクチン接種業務への就業希望者として登録を行い、
必要なワクチン接種研修を受講し、5月21日以降12月4日までに新たにワクチン接種業務に従事した看護職
のみなさまに、就業支援のための就業準備金として、一人1回限りで3万円を給付することとなりました。

申請は12月27日までです。詳細は日本看護協会のホームページをご覧ください。



コロナに負けるな
いま私たちに
できること

新型コロナウイルスに係る 看護師派遣で経験したこと

山梨県から要請を受け、宮城県の3次救急病院に派遣され、
一般病棟で看護にあたった経験を伝えていただきました。

国立病院機構甲府病院
看護師 藤森 博司

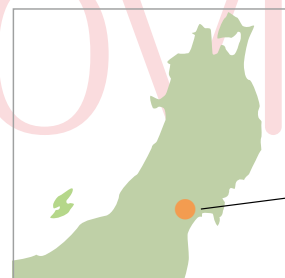
今回、県の要請で宮城県にある3次救急の病院に派遣されました。派遣時の宮城県は感染状況のステージ3に分類され、COVID-19に感染した患者が急激に増加している状況でした。病院に入院できず、ホテルで点滴治療をしている待機患者が複数名いるという話も聞きました。派遣された病院はCOVID-19患者の受け入れ病床数を増加させる為に、病床編成をしている最中でした。病棟編成に伴い一般病棟に看護師が不足した為、私はその補完として、一般病棟に配属されました。派遣先の業務としては、主に入院患者の清潔ケア、緊急入院の対応、手術患者の術後看護を行ってきました。

派遣先の病院までは地下鉄で移動し、毎朝車内は混雑している状態でした。私はその移動の中で、自分がCOVID-19に感染してしまうかもしれないという不安を感じながら、通勤していました。また配属された病棟では手術患者が多く、自分が感染源となり、急変させてしまう可能性があるのではないかという恐怖心を抱き、緊張した中で業務を行っていました。私生活から手洗い・アルコール消毒を徹底して行い、業務中患者と関わる時は、手袋・マスク・ゴーグルは必ず装着して関わるようにしていました。

山梨県は他県に比べ、COVID-19の感染数は少ない状態です。しかしそこで安心はせず、自分がいつクラスター源になるかわからない状態であるという考えが改めて必要だと感じました。

当院でも手術患者・高齢者は多く、院内感染が起きてしまった場合、その対応は想像もつかないくらい困難なものだと予測されます。今回の派遣先での経験を活かし、今一度気を引き締め、正しい感染予防策を徹底し、院内感染の予防に努めていきたいと考えました。

未だ終息の見込みはなく、他県では医療体制がひっ迫した状況が続いている状況です。同じ医療職として、感謝の気持ちを忘れず、患者が安心して過ごせる環境づくりを提供できるように努めていきたいと思えます。



宮城県
3次救急病院への派遣

エールをありがとう!!

医療従事者に感謝を込めて

5月9日～15日 看護週間に合わせ、県庁がライトアップされました。

いまだ、終息がみえない、コロナ禍にあって各方面で活躍中の医療従事者に敬意を表しました。



AI検温器を設置しました

日本看護協会より新型コロナウイルス感染症に係る企業からの寄付金を活用してサーモカメラが配付されました。協会正面玄関に備えてあります。

来館の際は顔をかざして、健康チェックにご協力をお願いします。



コロナに負けるな
いま私たちに
できること

COVID-19 感染拡大に伴う 大阪看護師派遣報告

医療体制が逼迫し「災害レベル」とまで表現された大阪府の
医療現場の過酷な状況や活動内容を伝えていただきました。

山梨大学医学部附属病院
看護部 集中治療室
看護師 山本 雅弘



1. COVID-19感染拡大に伴う大阪派遣の概要

文部科学省より各国公私立大学病院長宛に大阪府への看護師派遣要請あり。当病院長よりICUへ看護師派遣の打診があり、人選をもとに看護師の派遣を決定。大学病院看護師派遣第1号として大阪にて看護支援を行う。

派遣先：大阪コロナ重症センター

派遣期間：令和3年4月19日～4月30日（11泊12日）

活動内容：COVID-19患者の診療の補助及び看護、医療従事者の支援

2. 大阪コロナ重症センターの概要

新型コロナウイルス感染症に対応可能なICU機能を有する臨時の医療施設として令和2年12月15日から運営を開始。病床数30床、全ての病床に人工呼吸器が配備されている。

3. 大阪派遣の実際

大阪への派遣依頼は私にとってまさに青天の霹靂でした。連日、COVID-19感染拡大により大阪の医療逼迫が深刻化しているというニュースが報じられていた為、大変な状況に陥っているのだろうと思いながらも普段と変わらない日常を過ごしていました。

まさか自分がそのような状況の大阪へ看護支援に行く事になるとは思っていませんでしたが、支援に行く事で患者や医療者等の助けとなると同時にこれまでのCOVID-19患者対応の知識や経験が活かせるのではないかと考え派遣を希望しました。

大阪コロナ重症センターでは看護師不足により十分な看護体制を整える事が出来ず、一部の病床しか運用出来ていない状況の中、看護師のFULL PPE対応時間は1日最大10時間、最長6時間となる事もありました。また、目の前の患者対応で手一杯となっており患者の家族やキーパーソンへの電話連絡やオンライン面会等も滞っている

状況でした。看護師不足により本来あるべき治療や看護の停滞を招き、それ故に患者・家族・医療スタッフ全ての人が不利益を被る状態に陥っていたと感じます。

派遣期間中、レッドゾーンで常に2人の重症患者を受け持ち診療の補助及び看護に当たりました。普段とは違った環境、更に派遣看護師が多い中での看護支援であり、普段であれば何ら問題のない対応であってもスタッフ間の認識のズレが様々なエラーを引き起こしかねないと考えた為、報告・連絡・相談を細目に行い相互理解、共通認識がしっかりと図れるよう心掛けました。また、面会する事が出来ず不安を感じている患者の家族やキーパーソンに対して電話連絡を行い、患者の様子を伝えたり医師からの病状説明で不明点や疑問点は無いかなどを確認したりしました。家族からは「連絡がなくて心配していましたが様子が聞いて安心しました。」「大変な状況とはわかっていますがどうかよろしくお願いします。」等の言葉をかけていただきました。

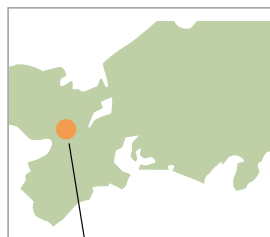
4. まとめ

COVID-19患者の診療及び看護は看護師不足により多くの不利益を被る為、看護師の確保は必須と考えます。今回のような医療逼迫を招いた場合には、病院単体での対応とは別で迅速に広域的な派遣支援を行う事で患者・家族・医療スタッフ等全ての人にとって利益となると考えます。

最後に、大阪コロナ重症センターのスタッフの方々をはじめ、大阪派遣に携わって頂いた関係者の方々に深く感謝いたします。1日も早くCOVID-19が終息となるよう願うと共に、皆さんと協力し今後も対応していきたいと思えます。



大阪コロナ重症センター内



大阪府
大阪コロナ重症センター
への派遣



PPE(個人防護具)フル装備

令和3年度の 職能委員会 活動抱負

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各職能の専門性を発揮し活動していきます。各職能委員長から今年度の活動計画や決意を述べていただきました。



保健師 職能委員会

コロナ禍の経験を活かす

保健師職能委員長 鈴木 一美



近年、自然災害や感染症の対策も加わり、孤立化や生活基盤の脆弱化、健康格差の拡大等、新たな複合的健康課題への対応と予防的活動が保健師に求められています。昨年度は開催できなかった交流集会ですが、今年度は7月10日にハイブリッド開催という新たな方式で52人の仲間と交流をしました。「コロナ禍における保健師活動と今後の展望」をテーマに、行政・病院・産業分野での実践や課題、葛藤を共有することで、相互の役割を理解し、活動のヒントを学ぶ機会となりました。

今年度の委員会活動目標は①地域包括ケアシステムの推進に向け保健師の専門性を高める②保健師活動の「見える化」を強化する③保健師の連携を強化しネットワークを推進するの3つを掲げ、保健師の繋がりを大事に委員皆で力を合わせ取り組んでいきます。

コロナ禍の経験をプラスに捉え、今後の保健師活動に活かせるよう、今年度も職能委員会活動へのご支援ご協力をお願いします。

助産師 職能委員会

令和3年度交流集会をWEBで開催 活動目標を多くの仲間と共有し、 スタートしました

助産師職能委員長 小泉 夫美子



7月15日(木)17時30分から令和3年度助産師職能交流集会においてZOOMによるWEB研修を開催しました。頻発する災害のなかで、「小児周産期の災害対策」として、山梨県立中央病院周産期センターの根本篤医師にご講演頂きました。新型コロナウイルス感染症対策により対面研修は人数制限がありますが、多くの看護職が参加できるようにWEB研修を設定しました。講演会では、2016年の熊本地震の実際の紹介から山梨県の災害時小児周産期リエゾンについて、そして

「防災宣言2021！私たちの病棟（病院）は私たちが守ります。」まずは自分達の病棟から見直しましょうと課題を頂きました。助産師職能委員会では、今年度の活動目標、①安全・安心な出産が提供できるように助産師が自立して活動するための支援を行う。②小児周産期の災害対策に関する研修を実施し、対策が検討できる。③「県民の健康な生活の実現に貢献する」ための事業の推進に取り組んでいきます。

看護師 職能委員会

看護師の実践能力の質向上を 目指して

看護師職能委員長 植田 美由紀



看護師職能委員会は、病院および在宅・介護福祉施設等で働く看護職が抱えている問題を明らかにし、解決のための検討を行い、質の高い看護が提供できるよう看護職を支援することを目的として活動しています。

令和3年度看護師交流集会では「職場のメンタルヘルス」をテーマに臨床心理士の保坂三雄先生に講演をして頂きました。コロナ禍において看護職に対する期待はこれまで以上に高まってきています。その期待に応えるためにもまず看護職が元気で生き活きと働けることが大切です。講演では職場の仲間意識の強さとサポート体制が何より重要であることを学びました。

今年度の活動として領域Ⅰでは、昨年度開催した「地域包括ケアシステムにおける高齢者への意思決定支援」の実践編として、事例を通して具体的な支援方法を学ぶことをねらいとした研修会を計画しています。

領域Ⅱでは新型コロナウイルス感染症のためこれまで行ってきた出前研修に変わり、リモート研修を通じ看護技術や業務改善に関する看護師のスキルアップを図ったり、新しい生活様式での看護職員間のネットワークの構築を目指します。

今年度も引き続き看護師職能委員会の活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



公益社団法人 山梨県看護協会

理事会メンバーをご紹介します

令和3年度の皆様です。
会員の皆様のご協力を
お願いします。

会 長 佐藤 悦子(新)
副 会 長 角田 千春(再)
副 会 長 飯野みゆき
専 務 理 事 一瀬 礼子
常 任 理 事 岡本 理恵
保健師職能理事 鈴木 一美(新)
助産師職能理事 小泉夫美子

看護師職能理事 植田美由紀
准看護師理事 望月知加子(新)
中北地区理事 赤池ひさ子(再)
中北地区理事 並木奈緒美(再)
中北地区理事 戸倉 由紀(新)
峡北地区理事 小林みどり(新)
峡東地区理事 雨宮 栄子

峡東地区理事 内田眞由美(新)
峡南地区理事 佐野ひろみ
富士・東部地区理事 奥 立美
監 事 中込 正純
監 事 橋爪さつき
監 事 清水しほり(再)

(新) 新しく承認された役員 (再) 再任された役員

新役員紹介

会員の皆様の声を活かし、会員と共に歩む活動を
めざします。どうぞよろしくをお願いします。

- ① 抱負
- ② 趣味

保健師職能理事
鈴木一美



- ① 保健師が生き生きと、時代を見据えた活動ができるよう、皆様と取り組みたいと思います。
- ② 旅行・食べること

准看護師理事
望月知加子



- ① 准看護師理事として、現場の声に耳を傾け働きやすい、学びやすい環境に貢献します。
- ② 映画鑑賞

中北地区理事
戸倉由紀



- ① 今、求められている看護専門職としての役割を再認識し、看護職の力の結束と資質向上の一助になれば幸いです。
- ② 登山

峡北地区理事
小林みどり



- ① 看護協会と地区支部のパイプ役としての責任をしっかりと果たしたいと思います。
- ② 家庭菜園・山登り

峡東地区理事
内田眞由美



- ① 微力ではありますが、協会本部と地区支部のパイプ役になるように役割を果たしていきたいと思っています。
- ② 花植え

令和3年度 職能委員会

保健師 職能委員会

小川 理恵 山梨産業保健
総合支援センター
功刀 朱美 昭和町役場
堀内 美保 身延町役場
石原 布巳 峡東保健
福祉事務所
須田 由紀 山梨県立大学
藤原 友美 北杜市役所
有賀 孝枝 笛吹市役所
渡邊 文子 忍野村役場

助産師 職能委員会

長田 美和 甲府共立病院
村上 真美 都留市立病院
田中みや子 山梨赤十字病院
中村 知華 山梨県立
中央病院
萩原 結花 山梨県立大学
岡山 由佳 富士吉田
市立病院
伴野 理恵 市立甲府病院
深澤 優里 国立病院機構
甲府病院

看護師 職能委員会

岩間美奈子 市立甲府病院 坂本 真紀 医療法人社団
高原会
松本 君恵 一宮温泉病院 坂本 祐子 介護老人保健施設
甲府相川
ケアセンター
富田三千子 大月市立
中央病院
小山 尚美 山梨県立大学 内藤 由華 山梨県立
中央病院
山本 和子 真川訪問看護
ステーション 田邊 玲子 山梨大学
医学部付属病院
中川百合子 介護老人福祉施設
トリアス 望月 美幸 峡南医療センター
市川三郷病院
都丸 直美 都留市立介護老人
保健施設「つる」 望月富士穂 巨摩共立病院
依田 知美 在宅支援センター
甲州ケア・ホーム 唯井みゆき 甲州リハビリ
テーション病院

選挙管理委員会

石川文美子 山梨県立北病院
小野 千恵 富士・東部
保健福祉事務所
進藤小百合 山梨県立あけぼの
医療福祉センター
水上さつき 石和共立病院
赤坂 繁美 しもべ病院
三浦 百合 山梨赤十字病院

推薦委員会

宮久保朱実 山梨県立中央病院
齊藤由美子 山梨県総務部
職員厚生課
押領司さおり 山梨県立北病院
小野村貴子 一宮温泉病院
渡辺千恵美 身延山病院
澤海 麻美 山梨赤十字病院



報告 地区支部の取り組み



昨年度は、新型コロナウイルス感染の影響により、地区支部活動も制限せざるを得ない状況でしたが、今年度は、感染対策を強化、工夫しながら、各地区支部の特性に合わせた取り組みが計画実施されていくことと思います。会員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



中北

中北地域の看護の質の向上を目指し、地区支部活動に取り組む

中北地区支部長 市川 美生



令和3年5月20日 中北地区支部総会と記念講演を開催し、地区支部としての新たな1年がスタートしました。コロナ禍での制限はありましたが、2年ぶりの開催を喜ばしく感じております。記念講演は、「泣く子もほめる！ほめ達の魔法」をテーマに社団法人 日本ほめる達人協会特別認定講師 渡辺洋之氏より講演をいただきました。「ありがとう」は最上級のほめ言葉。相手を尊重し、当たり前と思っている出来事に隠された頑張りに「ありがとう」を伝えていきたいです。

昨年は企画した行事を中止せざるを得ない状況でした。今年度は、感染症対策を行いながら地域の看護の質の向上を目指し、支部の活動に取り組んでいきたいと思っています。

研修会や看護の思想普及活動などで皆様とお会いすることを楽しみにしています。



峡東

研修での学び合いや地域住民との触れ合いで活気ある支部活動を目指して

峡東地区支部長 堀 忍



峡東地区支部は、笛吹市・山梨市・甲州市の3市1,162人の会員の皆さんと共に、1. 病院・施設・地域の連携による地域包括ケアの推進 2. 看護職が働き続けられる環境づくりの推進 3. 看護思想と看護協会活動の普及啓発の推進 4. 教育研修による看護の質向上の推進 の4点を柱に、研修での学び合い、地域での活動等、活気あふれる支部活動を目標としています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により思うような活動ができず、毎年実施していた看護師と介護支援専門員との多職種連携合同研修会も開催できませんでした。しかし、看護連携継続委員会では、コロナ禍だからこそ医療・介護の連携を考えようと委員会活動の中で介護支援専門員の皆さまも交えての事例検討を毎月実施し「山梨県峡東地域 新型コロナウイルス感染症流行下における(入)退院連携のあり方について<事例を通した課題の検討報告書>」を作り上げました。このような取り組みを今年度の研修につなげ、更に充実した活動にし

ていきたいと思っています。まだまだ新型コロナウイルスの影響は大きく日常のくらしに様々な制限が続く日々です。しかし、いつの日かこの難局を乗り越えた先には、また元気に地域の方々と触れ合い活気あふれる支部活動ができるよう力を蓄えていきたいと思っています。引き続きのご支援・ご協力をお願い致します。





峡北

峡北地区支部内の看護職の 連携強化に向けて

峡北地区支部長 中山 美加



昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために研修会や取り組みなどが中止、企画の変更など地区支部活動の自粛を余儀なくされた1年でした。今年度も長期にわたるコロナ禍が続く中、また自然災害が叫ばれる中で、医療、介護、地域のさまざまな現場を支える看護職が地域連携を強化してその地域が目指すケアシステムができればと考えています。よって、今年度の方針を「感染症や自然災害への対応力強化を行い、看護活動と地域社会の共同を行う中で地域包括ケアシステムの推進を図

る」としました。感染症や起こりうる自然災害を予測して私たちが地域でできる役割を知り、有効的な看護連携がはかれるよう研修企画を考えています。今の社会状況を鑑みながら峡北地区の管轄である北杜市、韮崎市、南アルプス市の広域にわたる地域の看護職が連携強化をはかり看護活動が行えるよう、また地区支部活動がさらに発展させていけるよう役員一同努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



峡南

「看護の連携」と「顔の見える 関係づくり」

峡南地区支部長 赤坂 繁美



コロナウイルス感染症の発生により、日々その対応に追われていることと思います。峡南地区支部でも、感染者の受け入れ、民間のワクチン接種等各施設役割を分担しながら対応しています。

会、発表会を開催する方向で検討していきたいと思っています。

峡南地区支部では、「地域で働く看護職の連携を強化し顔の見える関係づくり」をもとに活動を行っています。令和2年度は、総会は書面議決、秋に予定していたトピックス研修、住民向け研修も中止となり、看護研究発表会も書面での発表となりました。今年度は、それらの研修

コロナウイルス感染症の発生により、看護の連携を強化し、地域全体で協力していくことの必要性を強く感じています。小さな支部ではありますが、地域の皆様の声を聴きながら活動していきたいと思っています。今年度も会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



富士・東部

看護職の連携を強化し地域住民の 健康と福祉を支える

富士・東部地区支部長 上條 真澄



富士・東部地区支部では「地域の看護職の連携を強化し、地域住民の健康と福祉の増進に寄与する」ことを目的に支部活動を行っています。今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため定期総会を役員のみでの参加で行う形でのスタートとなりました。

役に立てるよう努力していきたいと思っております。今年度も会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度は「看護のケア向上研修」「リフレッシュ研修」「看護の連携研修」を計画しています。さらに上野原市と連携し「地域の方に在宅医療の意義や必要性について理解を深める機会とする」を目的として市民公開講座も計画しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により計画を見直す必要が出てくるとは思いますが、役員の皆様と協力しながら少しでも会員の皆様のお





地域の人々の健康的な暮らしを支える看護を目指しています

一宮温泉病院 看護部長 松本 君恵

当院は、石和温泉郷に隣接し、桃・ブドウ畑に囲まれた病院の近くには10万坪の広さをもつ山梨県森林公園があります。この恵まれた自然環境の中で私たちは看護の力を発揮して地域の人々が人生の最期まで幸せに生きることを目指しています。

長い間の農作業や高齢を原因とした骨・関節疾患には年間180件以上の骨・関節手術を行い、退院後の農作業や生き生きと生活することが可能になるような支援には総合診療・整形外科関節センター・小児外来と地域の多様な医療ニーズに応えた外来看護と急病から慢性期に対応した病棟、在宅療養を支える訪問看護の各分野の連携が土台となります。

また高齢者・障害者が安心してケアを受けられ施設職員が安心してケアを提供出来るよう6施設との看護の連携も図っています。

小規模ながら多機能な医療提供により小児から高齢者、働く世代の健康的な暮らしを支える看護実践には多様な看護知識と技術が求められます。看護部では外来、地域包括ケア・回復期リハビリテーション病棟、訪問看護の各分野間の連携とともに『根拠に裏付けられた実践と諸基準・手順を整理し、質を保障した看護を提供しよう』を目標に取り組んでいます。



看護を通して共に学びあうステーションづくり

おおくに訪問看護ステーション 所長 若林 奈央

当ステーションには、看護師16人、理学療法士2人が在籍しています。法人内には、2か所の診療所と、通所サービス、訪問サービス、グループホーム、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等の介護事業所を有しており、各事業所と密に連携を取ることで、病気や障がいがあっても住み慣れた地域で療養生活を送るための支援を実現しています。

昨年度から「働きやすく・働き続けることができる職場づくり」に特に力を入れています。電子カルテの導入、訪問時の携帯電話の支給等を行い、職員が安心して訪問できるようにしています。また、当ステーションの職員は、20代～60代と年齢層が幅広く、経験が浅くても、年齢を重ねても働き続けることができるような教育体制を構築しています。特に、事業所内での研修や外部研修への参加、資格取得への支援には力を入れています。

私たちは、1人1人が、質の高い看護を提供することに加えて、「療養者の生活を支える1メンバー」としての自覚と誇りを持ち、今後も地域の在宅療養支援に貢献していきたいと思っています。

看護研究することで得られるもの ～看護職の倫理綱領を紐解いて～



山梨看護学会委員会
担当/浅川 由紀 (笛吹中央病院)

今回は、日本看護協会の看護職の倫理綱領から看護研究の位置づけを確認していきたいと思ひます。

看護職の倫理綱領は、看護職の行動指針であり自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものとされ、16項目が提示されています。その11項目に「看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。」と看護研究に関する内容があります。「実践を通して」というところがポイントだと思います。つまり、実践知の探求が重要だということです。研究者だけでなく、看護実践に携わる現場の看護職もその実施を負っていることとなります。現場の看護職は、看護の対象者に向き合い、常に自問自答しながら対象者のニーズに合った良い看護を提供していくことに努めています。その日常の看護実践で研究的視点を持つとは、1つは研究成果を実践に活用すること、2つめは日々の疑問を実際に検証し現場で実践するという、実践の中に研究的視点と姿勢を持つことです。そのためには、まず自分の興味のある分野やテーマの研究論文に目を通してみることから始めてみるのも良いと思ひます。新たな叡智を得るだけでなく、研究としてまとめる際の学習にもなります。そして、研究者とも連携しながら看護研究に取り組むとよいでしょう。

山梨看護学会でも毎年多くの看護研究が発表されています。興味のあるテーマを検索してみてください。新たな発見の糸口になると思ひます。

ナースの ママ・パパ 奮闘記



（家でも職場でも「看護」）

山梨赤十字病院 看護師 米山 義也

温かい職場のスタッフに支えられながら子育てを頑張っているパパナースを紹介します。



初節句

看護は「手」と「目」で「護」る。看護学校で一番初めに覚えた言葉でした。卒業して13年が経ち、令和2年、8月。私と同じく看護師である妻との間に長男が生まれました。生まれたばかりの時は、何も自分のことはできないと思ったのも束の間で、寝返りができるようになり、ハイハイができるようになり、つかまり立ちもできるようになり、その各場面に、夫婦ともども感動を感じる日々でした。しかし、次第に大きくなるにつれ一人で動けるようになり、自分が何かをしても常に横「目」で行動を見守り、バランスを崩せば「手」を（時には足を）伸ばして頭部を「護」る日々。代わりに受ける痛み「これが親になるということか」と顔を歪ませ、心に感じる日々へと変化していきました。それでも喜ぶ笑顔一つ、笑い声一つが辛い事を忘れさせてくれたのは、自分の職業に通じるものを感じたと同時に、看護を志した初心を思い出させてくれました。

職場では先輩ママが多く、自分の子の暴れぶり、いや生活ぶりを相談する中で「そーそー小さいときはそうだった。今はそんな時期だねー」といった言葉に安心したことは数えきれないほどありました。8月からは妻も職場に復帰しますが、お互いに、また周囲に助言や支援をいただきながら、ともに「看護」していきたいと思っています。

Topic & Information

健康わくわくウォーク 楽しみながら健康づくり!



南アルプス市役所 介護福祉課
介護予防担当
保健師 野澤 詩織

南アルプス市では「健康リーグ」事業の一環として「健康わくわくウォーク」を実施しています。

18歳以上の市民の方を対象に、ウォーキングを通じて楽しみながら健康づくりに取り組んで頂く事業です。参加者には歩数計をプレゼントし、日々の歩数をカウントして頂きます。歩いた歩数に応じてポイントが付与され、獲得ポイントに応じて市内の対象店舗で使えるお買い物券をプレゼントしています。自分のペースで気軽に取り組めるウォーキングを続けることで運動不足やストレスが解消され、生活習慣病やフレイル予防につながります。



歩数データを送信しているところ



「幸せ実感！
南アルプス市
健康リーグ」とは

健康であることは大きな社会貢献であるという理念のもと“健康からまちづくり”を目指して、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが健康意識の向上に向けて、行政・企業（農協・商工会を含む）・医療関係機関（医師会・歯科医師会・薬剤師会）・地域が一体となって市民の健康づくりを推進する事業の総称

令和3年度 理事会報告

以下のとおり承認されました。

第1回 令和3年4月13日(火)

協議事項

1. 令和3年度通常総会について
2. 令和4年度日本看護協会代議員・予備代議員の推薦について
3. 令和3年度看護大会及び祝賀会について

第2回 令和3年5月19日(水)

協議事項

1. 令和2年度事業報告について
2. 令和4年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について
3. 令和3年度山梨県看護協会通常総会への招集及び通知について
4. 令和3年度常任委員会・特別委員会・認定看護管理者教育運営委員会の委員の選任について

第3回 令和3年6月1日(火)

協議事項

1. 令和3年度山梨県看護協会通常総会運営・担当役割について
2. 令和3年度第4回理事会について
3. 令和2年度決算報告書について

4. 令和2年度公益認定財務③基準の計算及び公益目的取得財産残額について
5. 令和2年度決算確定に伴う令和3年度収支予算及び収支予算の補正について

第4回 令和3年6月18日(金)

協議事項

1. 会長・副会長の選定について
2. 会長代行優先順位について
3. 常勤理事の報酬月額について
4. 業務執行理事の業務分担について
5. 令和4年度総会日程について
6. 令和3年度総会決議事項等の会員への周知について
7. 研究倫理委員会委員の選任について

第5回 令和3年8月12日(木) ※書面理事会

協議事項

1. 各イベントの出展及び協力について
2. 令和4年度県当初予算に対する要望事項について



Yamanashi
Nursing
Association

山梨県看護協会 INFORMATION

■ 令和4年度 山梨県看護協会通常総会 令和4年6月17日(金) 午後15時に決定しました。

※時間及び内容については、新型コロナウイルス感染症の情勢をみながら検討していきます。

会員の皆様
ご予約ください

■ 職能交流集会 通常総会とは別日に開催予定

■ ～10月は入会促進月間～

お知り合いの看護職に

看護協会への入会をお誘いください

- ★看護の質の向上
- ★働き続けられるサポート
- ★入会すると特典がいっぱい

全国都道府県看護協会一斉に実施
山梨県看護協会は、目標6000人(入会率54%)

※8月15日現在 5723人

- 入会方法等詳細については、お電話またはホームページをご覧ください。

Tel: 055-226-4288 ホームページ <http://www.yna.or.jp>



お気に入りの一枚

ほっと!いやされて...

我が家の「太陽」という意味で「SUN君」1才です♪やんちゃですが、仕事や家庭のストレスをいつも癒してくれる優秀なパートナーです♪



投稿者：佐藤宏樹
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)
トイブドール SUN君 1才

※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ペットに限らずご提供よろしくお願ひします。

送信先：
senm@yna.or.jp
広報担当

【表紙スナップ】身延山病院

身延山と富士川を望む風光明媚な地域に昭和21年に開院して以来「近くはこの病院があつて良かった」と地域の皆様に思っただけの病院を目指して、職員一同笑顔忘れずに頑張っています。



編集後記

ワクチン接種も進む中、まだまだ、新型コロナウイルスの収束とはなりません。広報委員会では、これからも協会ニュースを通して現場の様々な活動、取り組みなど、皆様にお届けしていきたいと思ひます。ご協力をよろしくお願ひします。

